オカダアイヨン株式会社（東証一部　6294）

2021/3期2Q決算説明資料

代表取締役社長
岡田祐司

（群馬県　八ッ場ダム）

業績サマリー

OKADA

◆新型コロナウイルスの影響により、国内外の経済活動は予断を許さない状況

◆ 2021年3月期第２四半期は「減収減益」ながら、業績予想（8月7日公表）は上回る
・売上高　8,456百万円（前年同期比 9.0%減、予想比 +356百万円）
・営業利益　735百万円（　〃　16.5%減、　〃　+ 85百万円）

◆ｵｶﾀﾞｱｲﾖﾝ（国内） 5,751百万円（前年同期比 7.9%減）
〃　（海外） 1,366百万円（　〃　18.5%減）
南星機械（国内） 1,338百万円（　〃　2.6%減）※2017/10月に子会社化

◆主力の建機アタッチメント・林業機械はコロナ影響で苦戦した一方で、
・災害復興等の用途が見込まれる"つかみ機"（前年同期比20.3%増）
・バイオマス発電関連の "環境関連機器"　（　〃　27.2%増）
・水力発電関連の "ケーブルクレーン"　（　〃　34.3%増）と、
再生エネルギー関連、災害復興関連は順調に推移

コロナウイルス禍のセグメント別状況

【前年同月比(％)】

		21/3期2Q 売上に占める割合(％)	2020年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	累計
国内		68	117	99	100	95	112	110	87	71	96
海外	北米	11	142	57	57	72	89	52	126	63	76
	欧州	3	151	89	62	160	92	138	156	93	110
	アジア その他	2	225	55	80	63	136	75	156	117	103
南星		16	66	112	60	90	94	127	179	65	95
連結計		100	113	94	82	92	107	105	107	70	94

※北米・欧州の現地法人は1/末決算のため、1Qが2月～4月・2Qが5月～7月となります

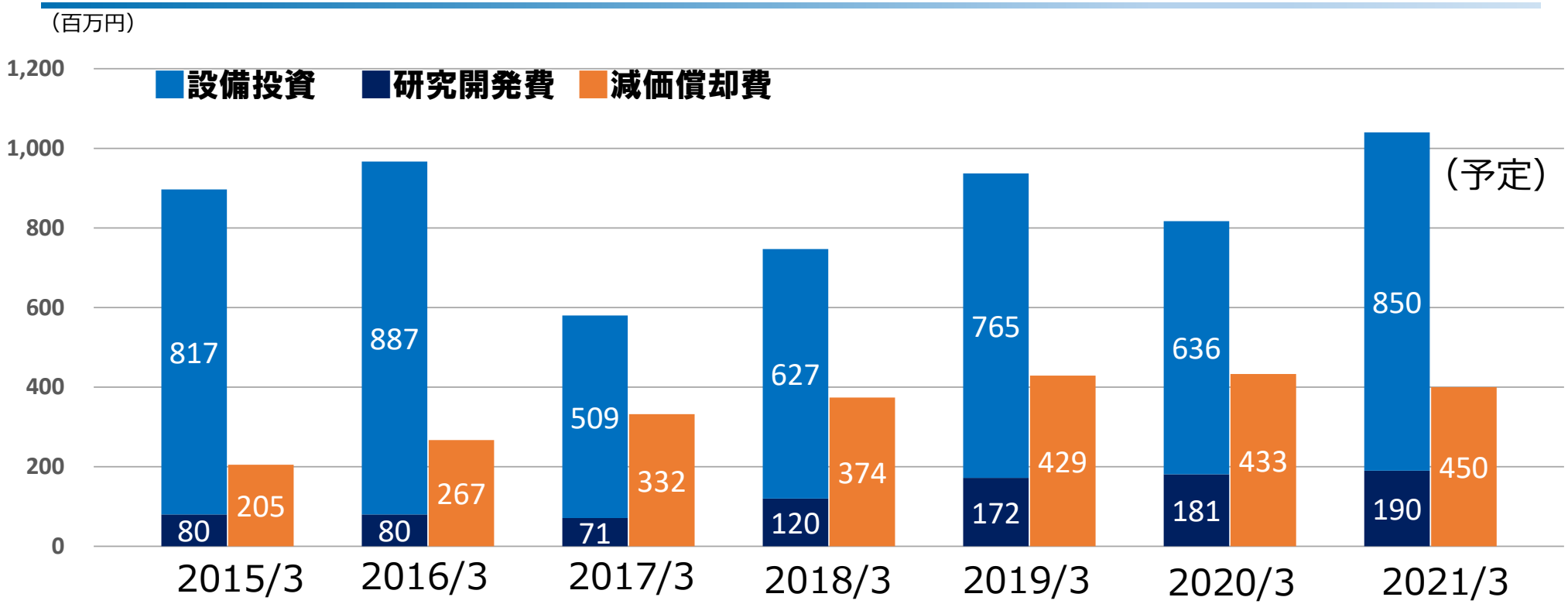
2021年3月期第2四半期業績及び通期見通し

OKADA

(百万円)

	20/3期 2Q実績 (累計)	21/3期 2Q実績 (累計)	前年同期比増減(額)	前年同期比増減(%)	21/3期 見通し (2020/8/7公表)	進捗率 (%)
売上高	9,296	8,456	▼840	▼9.0	16,000	52.9
売上総利益	2,768	2,446	▼322	▼11.6	―	―
販売費及び一般管理費	1,886	1,710	△176	△9.3	―	―
営業利益	881	735	▼145	▼16.5	1,000	73.6
経常利益	892	758	▼133	▼15.0	1,000	75.8
四半期純利益 (当社株主帰属)	554	460	▼94	▼17.1	650	70.8

設備投資等の状況

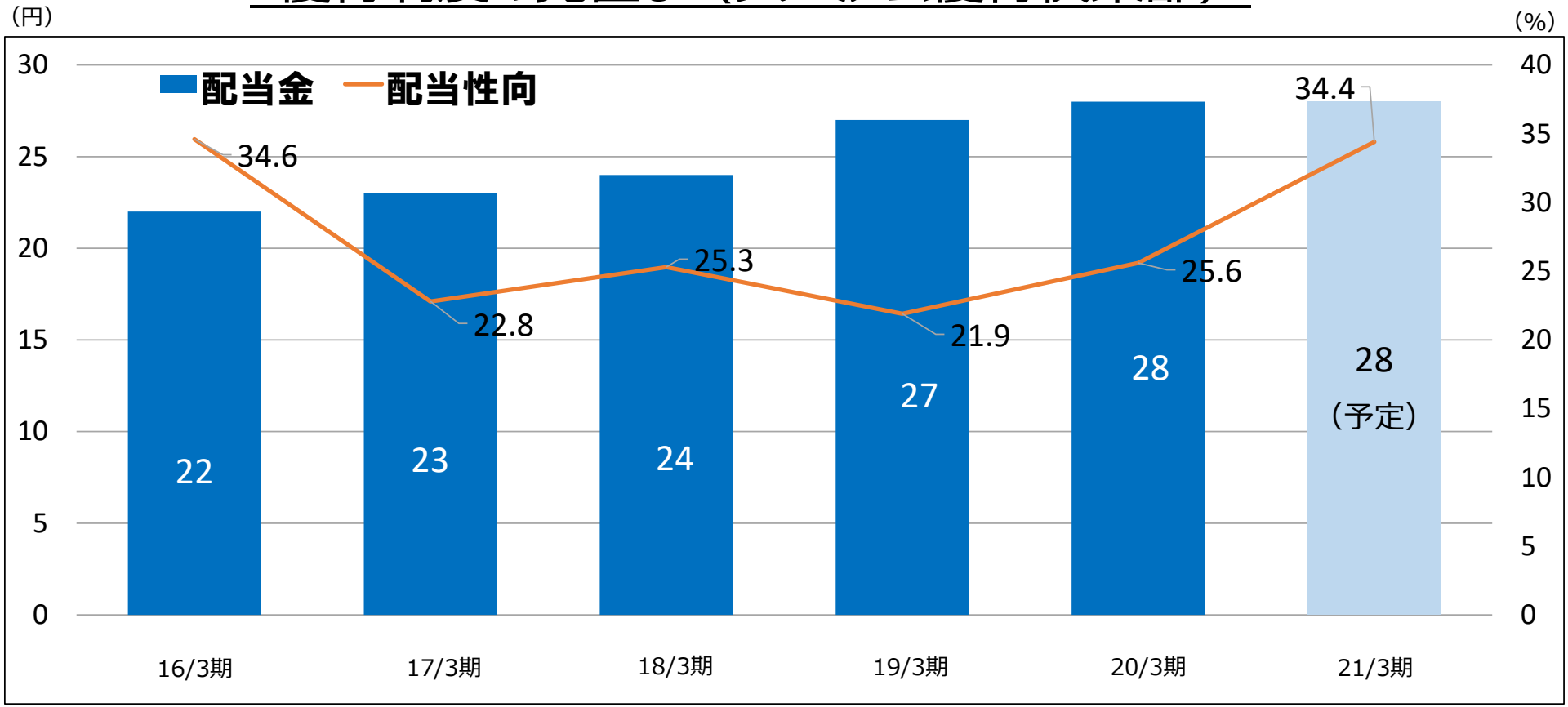


【主な内容】

- ・アイヨンテック隣地、工場（402百万円）
- ・アイヨンテック設備投資（559百万円）
- ・北陸営業所新築（270百万円）
- ・アイヨンテック新設建替（220百万円）
- ・南星グループのれん（209百万円）
- ・横浜営業所移転先土地（201百万円）
- ・四国営業所移転先土地（105百万円）
- ・四国営業所新築（276百万円）
- ・本社整備工場建替（94百万円）
- ・湘南営業所新築（445百万円）

配当金推移

・配当方針：配当性向30%・DOE3%
・優待制度の見直し（プレミアム優待倶楽部）

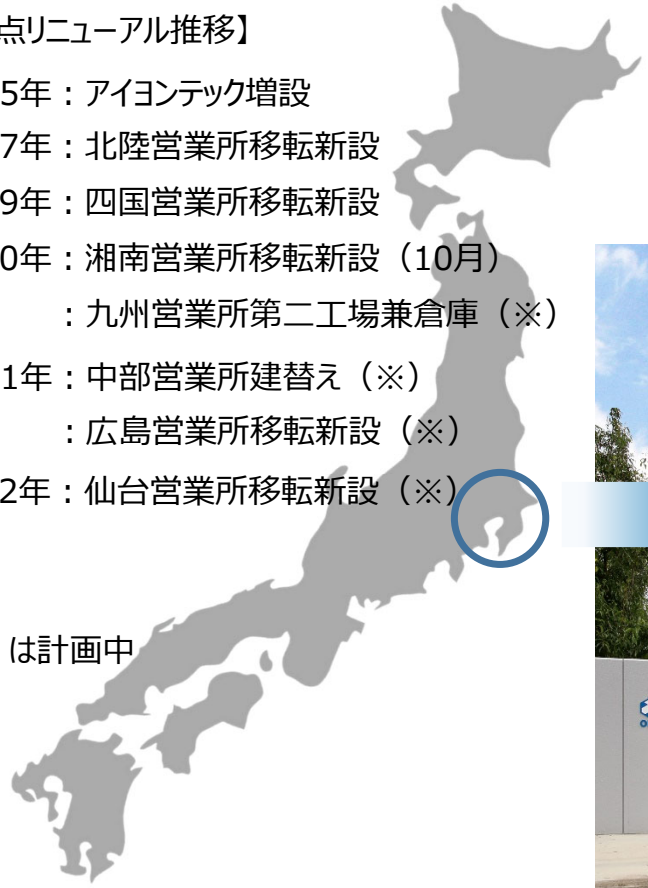


重点施策：国内拠点の充実

【拠点リニューアル推移】

2015年：アイヨンテック増設
2017年：北陸営業所移転新設
2019年：四国営業所移転新設
2020年：湘南営業所移転新設（10月）
　　：九州営業所第二工場兼倉庫（※）
2021年：中部営業所建替え（※）
　　：広島営業所移転新設（※）
2022年：仙台営業所移転新設（※）

（※）は計画中



◆横浜営業所を「湘南営業所」として移転新設

・省人化対応のための機械大型化に伴い、クレーン設備の充実が急務
・今後も引き続き全国各地の営業所リニューアル予定

湘南営業所　正面

側面図

修理工場内

重点施策：海外での製造開始

OKADA

画像出典：wikipedia

◆ベトナムでの製造開始（2021年度中）

- ★ビンズン省ミーフック第3工業団地内
  （ベトナム南部最大級の工業団地）
- 世界共通モデルでボリュームメリット追求
- 日本、アメリカ、欧州等に出荷予定

【参考モデル】
TOPV-50

【参考モデル】
TOP-32

ＳＤＧｓへの取組

OKADA

都市におけるリサイクルシステムを支える解体・金属リサイクル用機械

【国土を強靭化すると共に、復興する力を】

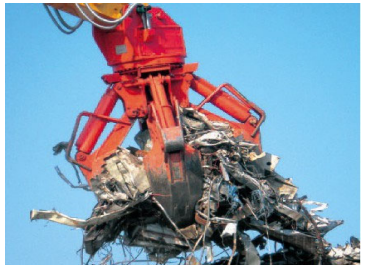
コンクリートの寿命は40～50年とも。
強靭化には「解体」が必須

阪神大震災では高速道路が倒壊
当社商品が復興を後押し

東北震災で排出された大量のガレキを
木材破砕機で分別処理

【コンクリート・鉄などのリサイクル推進を】

ショベル本体に負担を掛けず
効率の良い分別も可能に



鉄スクラップのリサイクルには
南星機械のアタッチメントが活躍

廃木材、廃プラスチック、廃タイヤ等
軟質系廃棄物を処理する機械も

ＳＤＧｓへの取組

OKADA

国内の山地・森林資源の有効活用に貢献する林業機械やケーブルクレーン

【森を守る為には木を切る必要があります】

伐採した木を道なき山から降ろすには
ウインチを使って運搬します

「移動」「伐採」「枝払」「切断」まで
一台でこなし、人手不足解消にも

処理しやすいサイズに大木を切断したり
根株の処理も行えます

【木質バイオマス発電や水力発電にも関わっています】

間伐材をチップにして
発電の原料に役立てる事が出来ます

ダム建設・水力発電所建設の際
資材運搬の為にケーブルクレーンが活躍

当社で使用する電力は「１００％」
木質バイオマス発電由来のものです

「バイオマス発電」に役立つオカダ

OKADA

当社使用電力は全てバイオマス由来

【購入先発電所（抜粋）】

・グリーン発電大分　（大分県）
・ウッティかわい区界発電所（岩手県）
・白糠バイオマス発電所　（北海道）
・中国木材バイオマス発電所（佐賀県）
・一戸フォレストパワー　（岩手県）
ほか

オカダグループ対応範囲

間伐材の伐採・運搬
（オカダ・南星商品）

木材チップ化
（オカダ商品）

燃焼・発電
（バイオマス発電所）

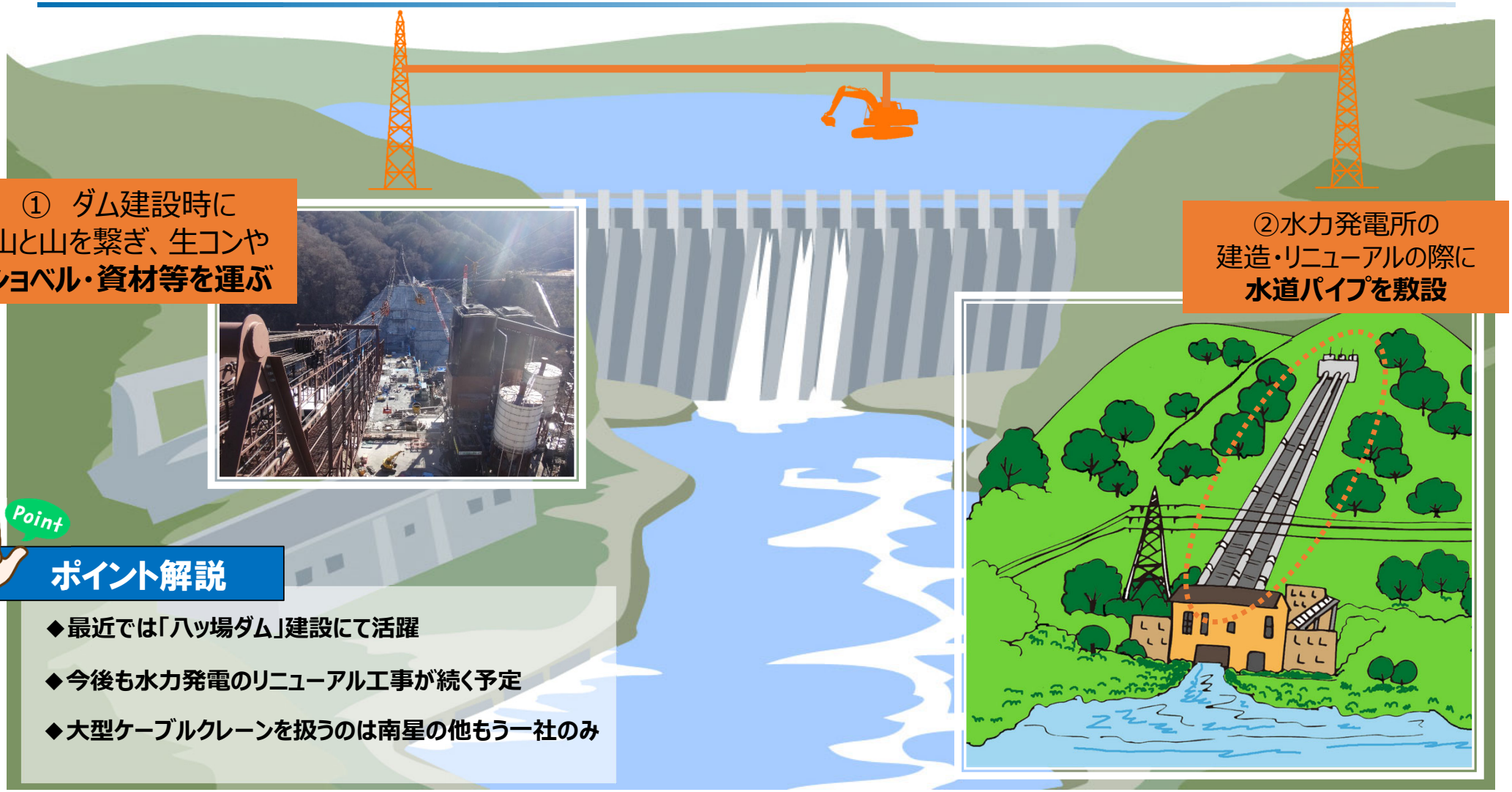
FIT制度
（国による固定額買取）

電力会社への売電

木質バイオマス発電の流れ

「ダム建設」「水力発電」にも貢献

OKADA



① ダム建設時に
山と山を繋ぎ、生コンや
ショベル・資材等を運ぶ

②水力発電所の
建造・リニューアルの際に
水道パイプを敷設

Point

ポイント解説

- ◆最近では「八ッ場ダム」建設にて活躍
- ◆今後も水力発電のリニューアル工事が続く予定
- ◆大型ケーブルクレーンを扱うのは南星の他もう一社のみ

中長期経営計画　進捗状況

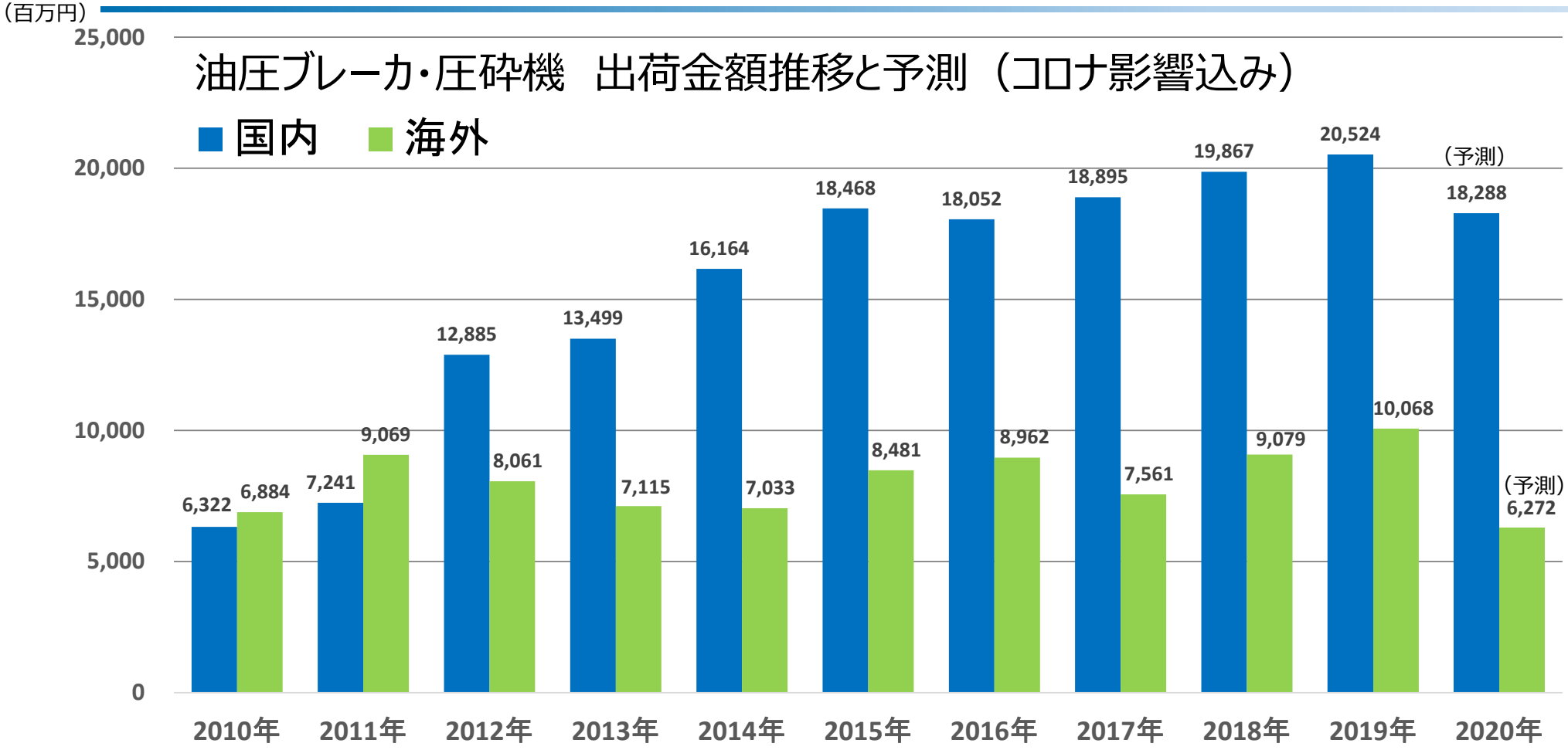
OKADA

◆中期経営計画にはコロナ収束後改めてチャレンジ

（百万円）	1stステージ			2stステージ			当初計画
	実績			実績		計画	
	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	21/3期
売上高	12,043	13,113	15,399	17,866	17,957	**16,000**	20,000
営業利益	760	1,106	1,195	1,524	1,368	**1,000**	2,000
経常利益	721	1,092	1,270	1,560	1,347	**1,000**	2,000
親会社株主に帰属する当期純利益	438	696	666	1,000	884	**650**	1,250
海外売上高	2,313	2,095	2,752	3,061	2,985	**2,180**	4,000
海外売上比率	19.2%	16.0%	17.9%	17.1%	**16.6%**	**13.6%**	20.0%

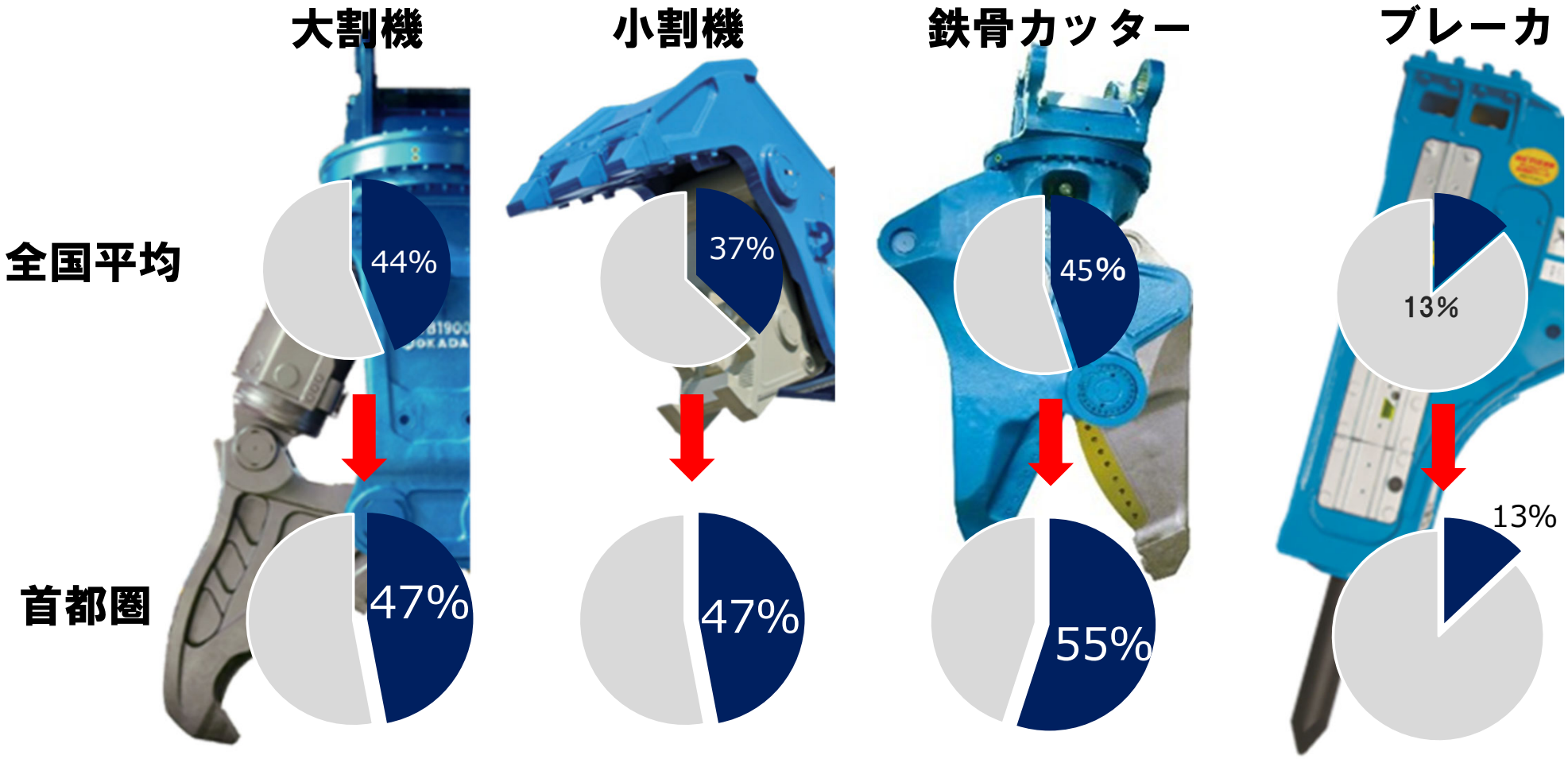
※　2020年8月7日　20年度業績予想修正発表

マーケットサイズ



（日本建設機械工業会（CEMA）8/27時点発表資料を基に当社作成）

主力商品シェア



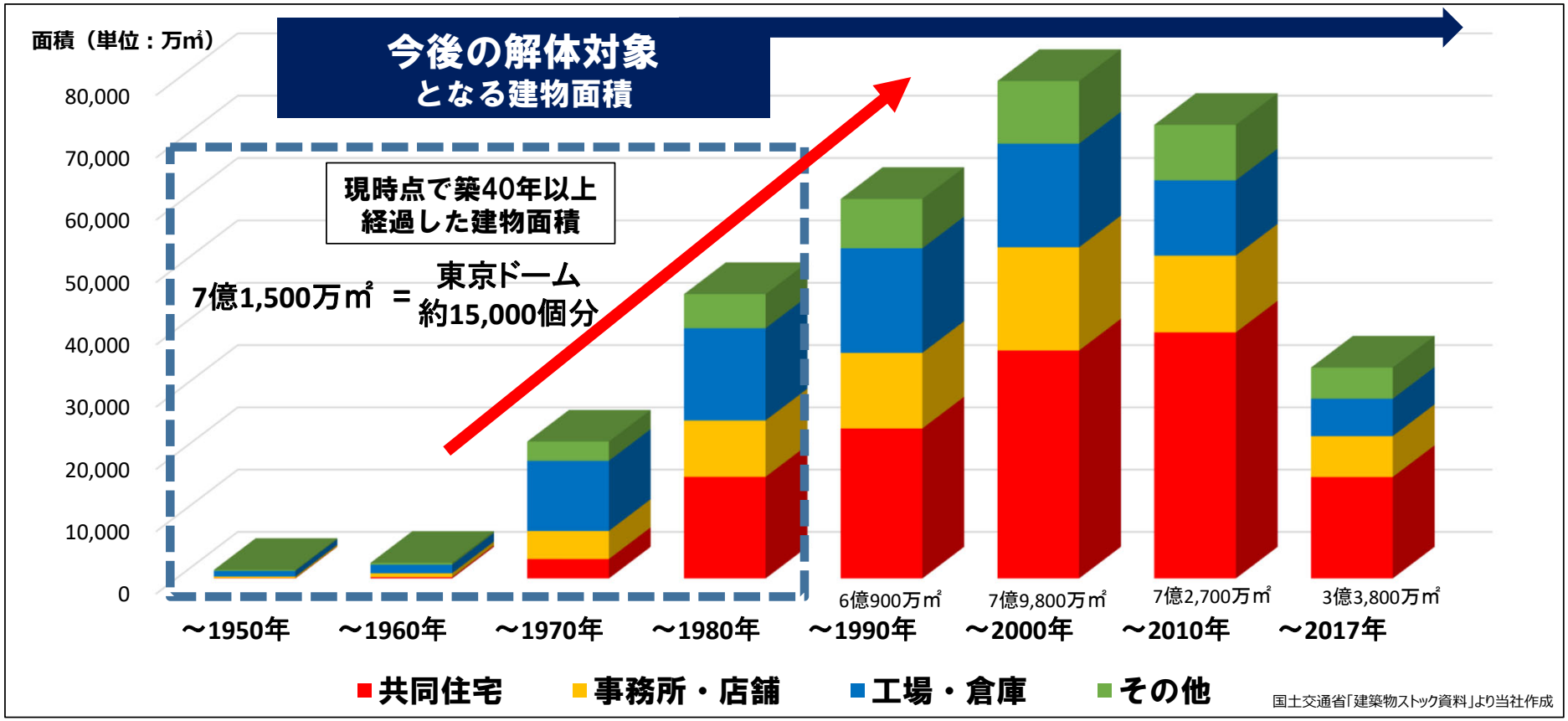
首都圏：東京･埼玉･千葉･神奈川　（日本建設機械工業会（CEMA)発表資料を基に当社作成）2020/4～2020/9

解体マーケット需要

OKADA

非木造建物（コンクリート建物）の建築年代と建築面積

◆築40年以上の解体対象を見ると、解体需要はこれからが本格化（毎年東京ドーム約1,500個分相当の面積が対象に）



◆東京ドームの床面積を46,000㎡として換算

林業マーケット需要

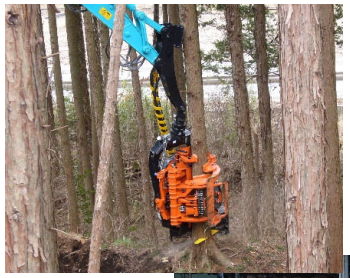
OKADA

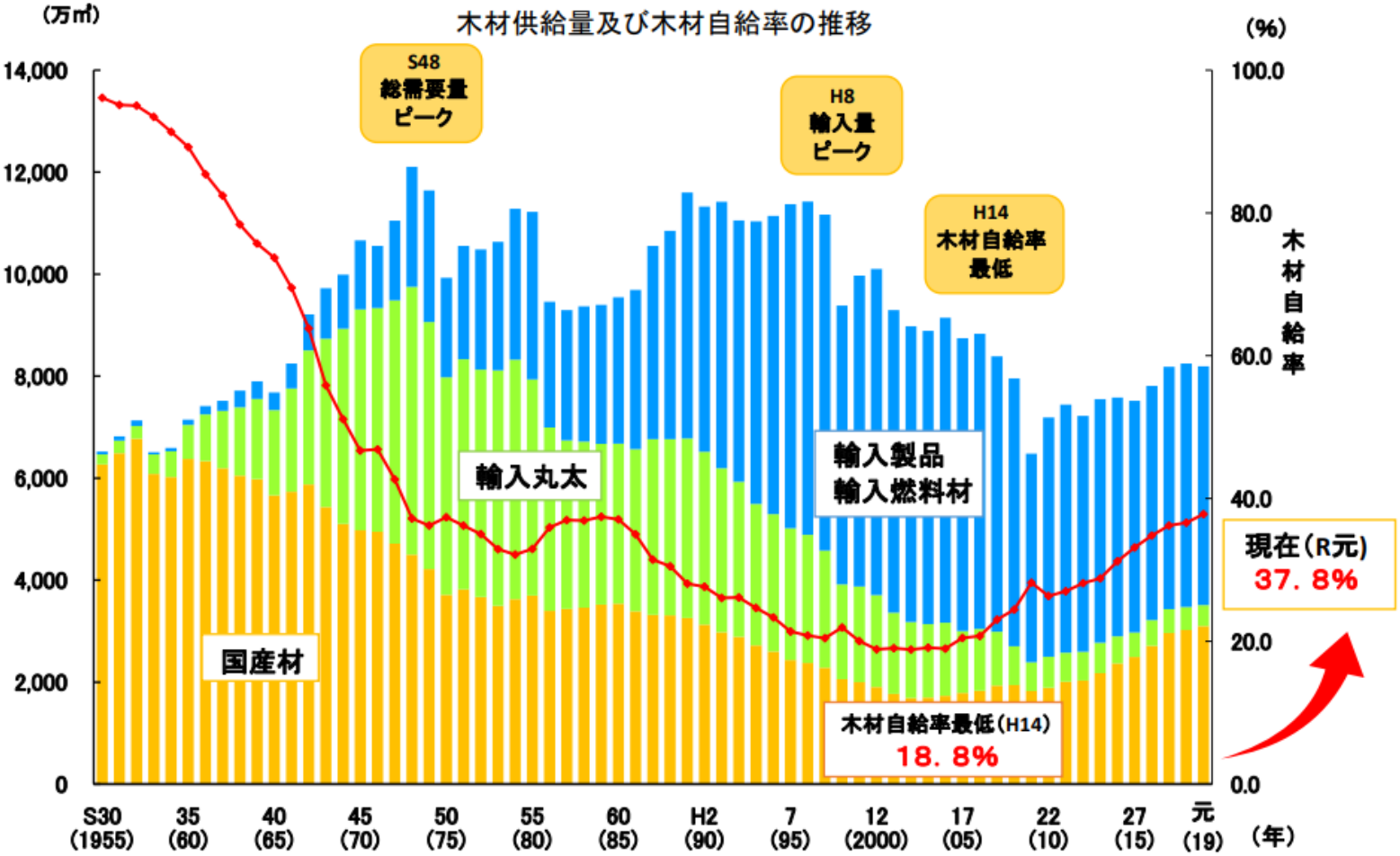
◆木材自給率は**9年連続上昇**（37.8％）

➡ 平均1.2％ペースで増加

◆**燃料材**総需要量は前年比**15.1％増**

➡ 林業機械活躍の場が広がる



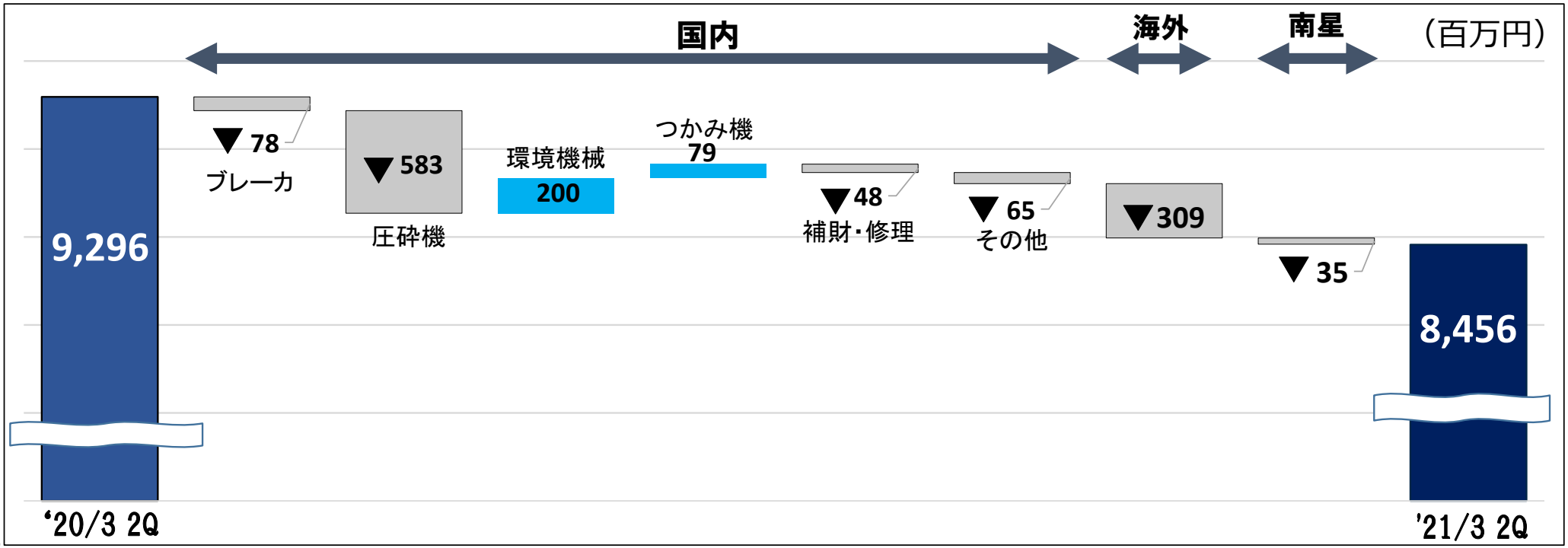


林野庁「『令和元年木材需給表』の公表について」（2020年9月30日発表）

【業績補足資料】売上高増減要因

OKADA

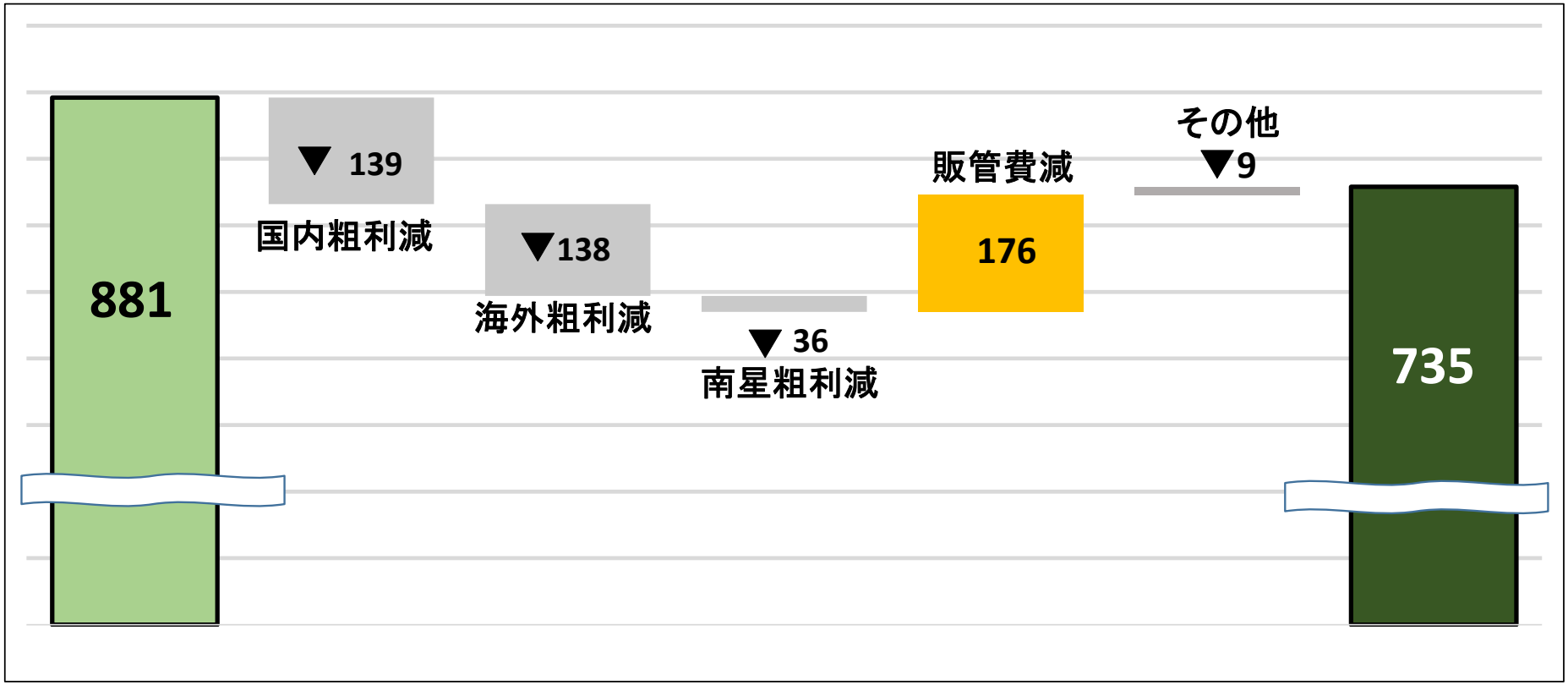
- 国内は、主力の圧砕機および油圧ブレーカ売上減（コロナ影響）
  災害時にも活躍するつかみ機好調、バイオマス需要堅調で木材破砕機も売上増
- 海外は、米国減収（コロナ影響）、他方欧州順調、新商材投入のアジアで回復の兆し
- 南星は、水力発電所改修需要により売上増、但し林業機械はコロナ買い控え影響で減収



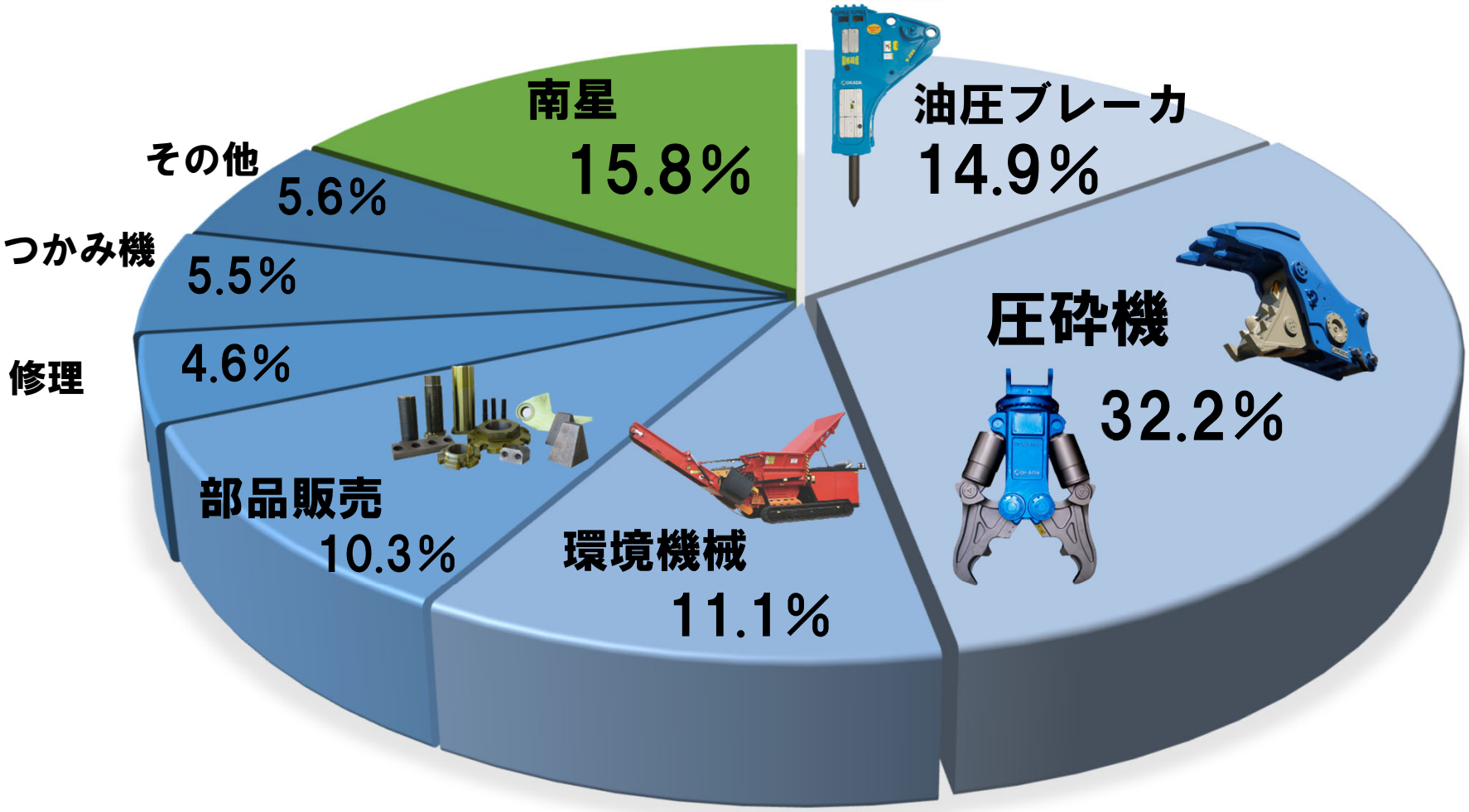
【業績補足資料】営業利益増減要因

- 売上減による国内・海外・南星粗利減
- コロナ影響での活動制限により、展示会費・交通費・交際費等販管費減

（百万円）



【業績補足資料】販売構成比（全体）



2020/4～2020/9　当社連結売上構成比

【業績補足資料】 機種別売上（2Q推移）

OKADA

（百万円）

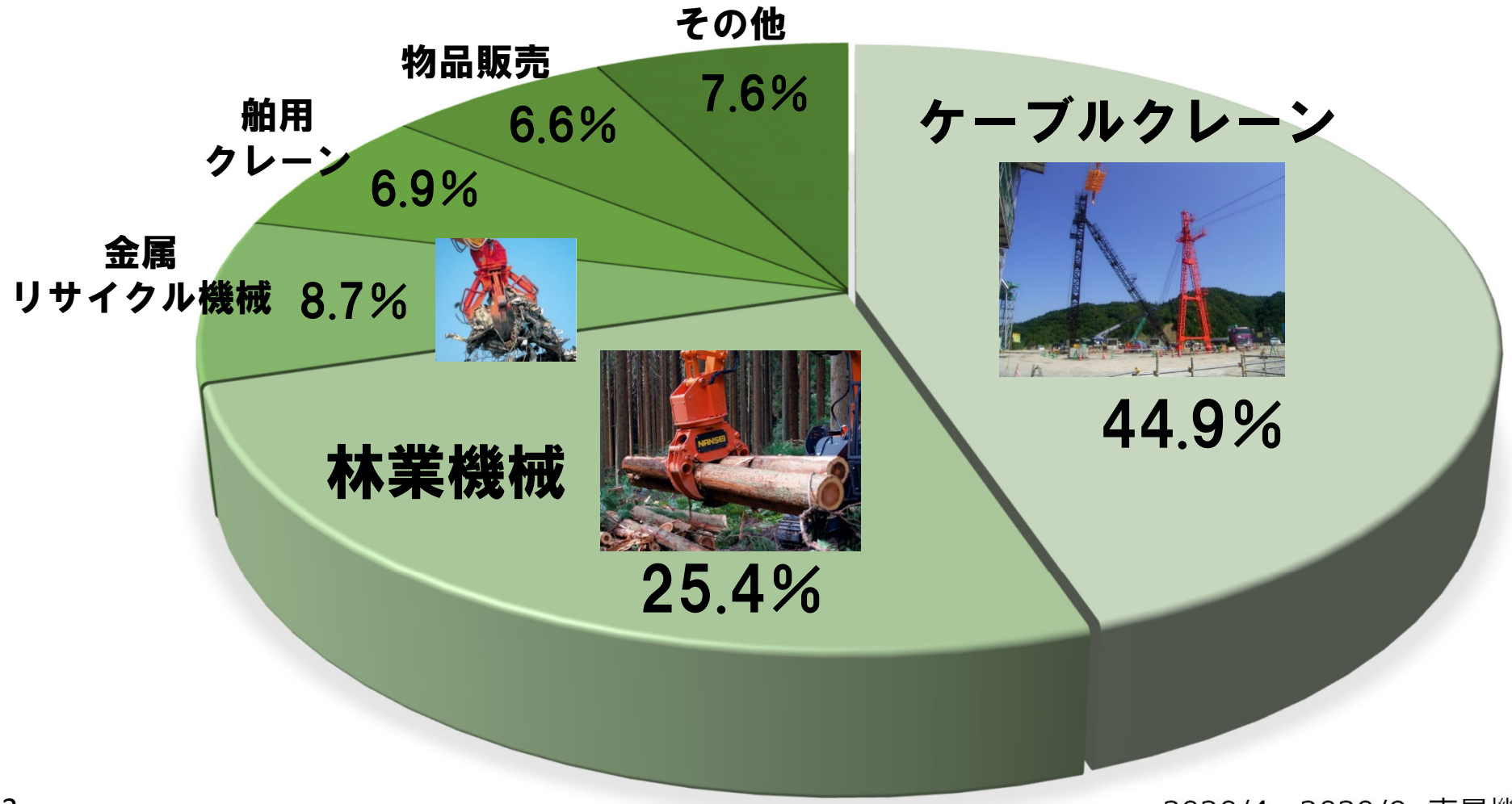
		'19/3期 2Q	'20/3期 2Q	'21/3期 2Q	前期比		前々期比
					金額	増減（%）	増減（%）
	ブレーカ	396	459	381	▼78	▼17.0	▼3.8
	圧砕機	3,060	3,123	2,539	▼583	▼18.7	▼17.0
	環境機械	705	737	937	200	27.2	32.9
	つかみ機	270	390	469	79	20.3	73.7
	補材・修理	954	1,067	1,018	▼48	▼4.5	6.7
	その他	351	470	407	▼63	▼13.7	16.1
	国内計	5,736	6,246	5,751	▼495	▼7.9	0.3
	海外計	1,728	1,676	1,366	▼309	▼18.5	▼20.9
	南星計	1,308	1,373	1,338	▼35	▼2.6	2.3
	連結計	8,773	9,296	8,456	▼840	▼9.0	▼3.6

【業績補足資料】 地域別売上（国内2Q推移）

（百万円）

	'19/3期 2Q	'20/3期 2Q	'21/3期 2Q	前期比		前々期比 (%)
				金額	増減（%）	
北海道	295	237	281	44	19.0	▼4.7
東北	671	674	744	70	10.4	10.9
関東	1,793	2,037	1,614	▼423	▼20.8	▼10.0
中部・北陸	708	826	861	35	4.2	21.6
関西	689	880	678	▼202	▼23.0	▼1.6
中国・四国	565	656	509	▼147	▼22.4	▼9.9
九州	786	796	934	138	17.3	18.8
その他（本社扱）	229	135	130	▼5	▼3.7	▼43.2
国内計	5,736	6,246	5,751	▼495	▼7.9	0.3
海外計	1,728	1,676	1,366	▼309	▼18.5	▼20.9
南星計	1,308	1,373	1,338	▼35	▼2.6	2.3
連結計	8,773	9,296	8,456	▼840	▼9.0	▼3.6

【業績補足資料】販売構成比（南星）



2020/4～2020/9　南星機械売上構成比

【業績補足資料】南星・機種別売上（2Q推移）

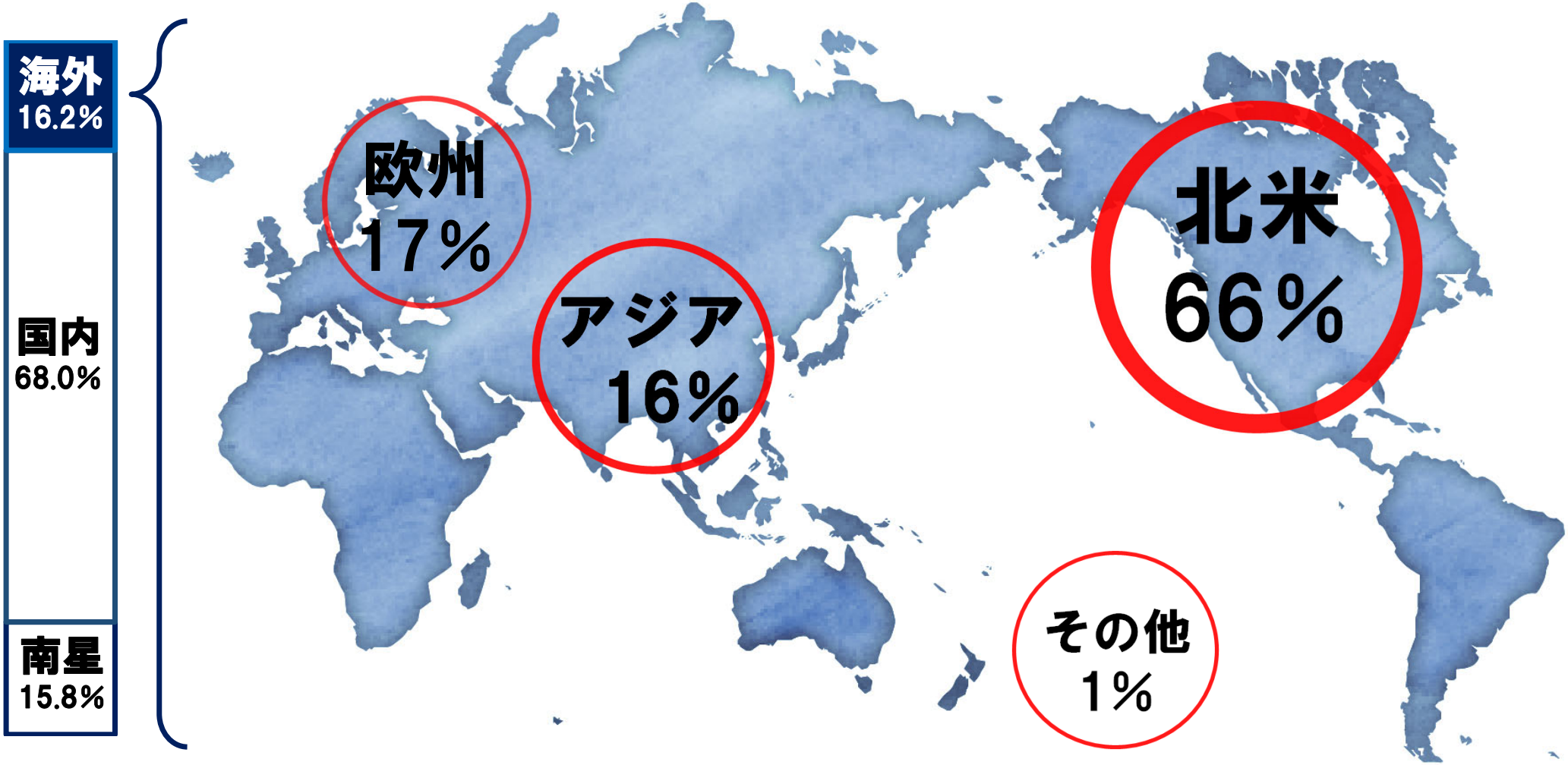
OKADA

（百万円）

	'19/3期 2Q	'20/3期 2Q	'21/3期 2Q	前期比		前々期比
				金額	増減（%）	増減（%）
ケーブルクレーン	372	447	600	153	34.3	61.3
林業機械	397	377	339	▼37	▼10.0	▼14.2
鉄・スクラップ	123	182	115	▼66	▼36.6	▼6.4
舶用クレーン	112	88	91	3	4.4	▼18.2
物品販売	193	148	87	▼60	▼40.7	▼54.3
その他	111	129	101	▼27	▼21.6	▼8.1
南星計	1,308	1,373	1,338	▼35	▼2.6	2.3
連結計	8,773	9,296	8,456	▼840	▼9.0	▼3.6

【業績補足資料】海外販売先 内訳

OKADA



【業績補足資料】海外・地域別売上（2Q推移）

OKADA

海外 16.2%

国内 68.0%

南星 15.8%

（百万円）

	'19/3期 2Q	'20/3期 2Q	'21/3期 2Q	前期比 金額	前期比 増減（%）	前々期比（%）
北米	1,188	1,229	896	▼333	▼27.1	▼24.6
アジア	358	204	215	10	5.3	▼39.9
ヨーロッパ	140	215	233	17	8.0	66.4
オセアニア	27	4	8	4	100	▼70.4
その他	15	22	12	▼9	▼41.5	▼20.0
海外売上計	1,728	1,676	1,366	▼309	▼18.5	▼20.9
海外比率（%）	19.7	18.0	16.2	▼1.8	—	—
内、当社内北米比率（%）	68.8	73.3	65.6	▼7.7	—	—

ご清聴ありがとうございました

＜注意事項＞

本資料中の予想は、決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は今後種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。

【参考】 会社概要（20/3月現在）

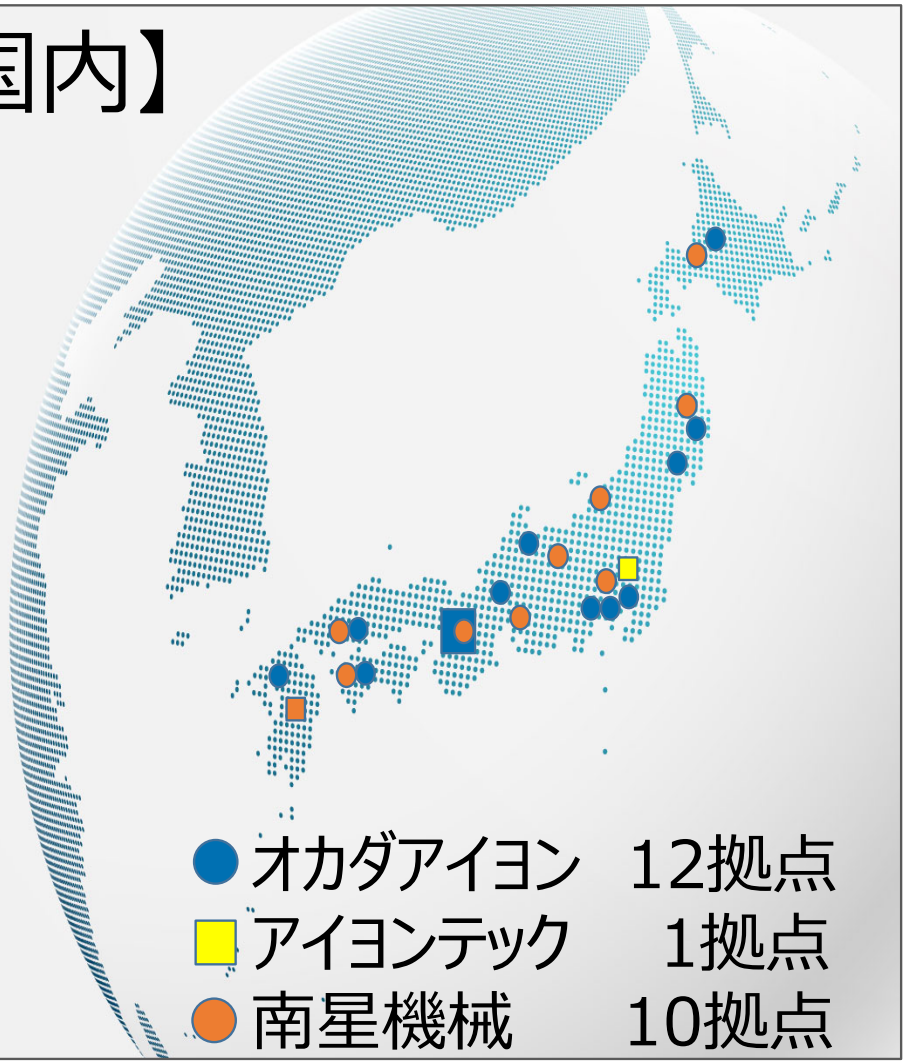
創　　業	1938年7月（設立1960年）
事業内容	建設機械及び林業機械の製造、販売、修理
資本金	2,221百万円
従業員	442名（連結）
売上高	17,957百万円
拠　　点（グループ計）	国内21、海外5

本社外観（大阪市港区）

【参考】 拠点

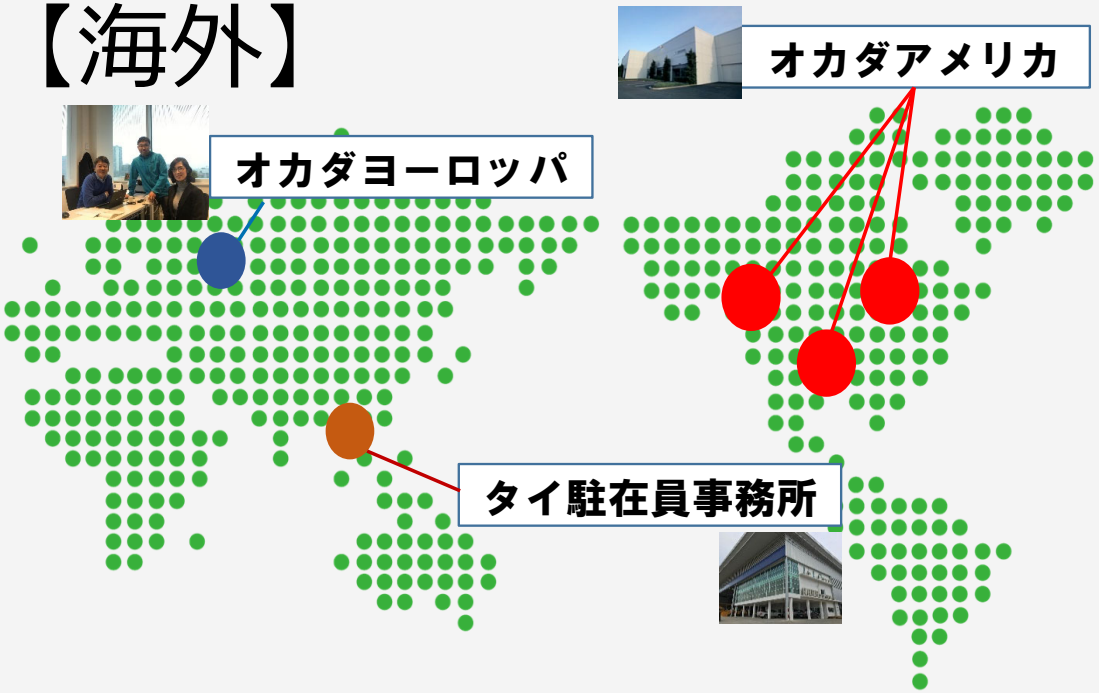
OKADA

【国内】



- オカダアイヨン　12拠点
- アイヨンテック　1拠点
- 南星機械　10拠点

【海外】



オカダアメリカ　3拠点（本社/オレゴン）
オカダヨーロッパ　1拠点（本社/オランダ）
タイ駐在員事務所　（アユタヤ）

【参考】 会社の歩み

OKADA

1938 創業

1951頃
（鑿岩機工法）

1960頃（大型エアブレーカ登場）

1970代後半（圧砕工法登場）

直近30年
売上高推移

1995
（阪神淡路大震災）

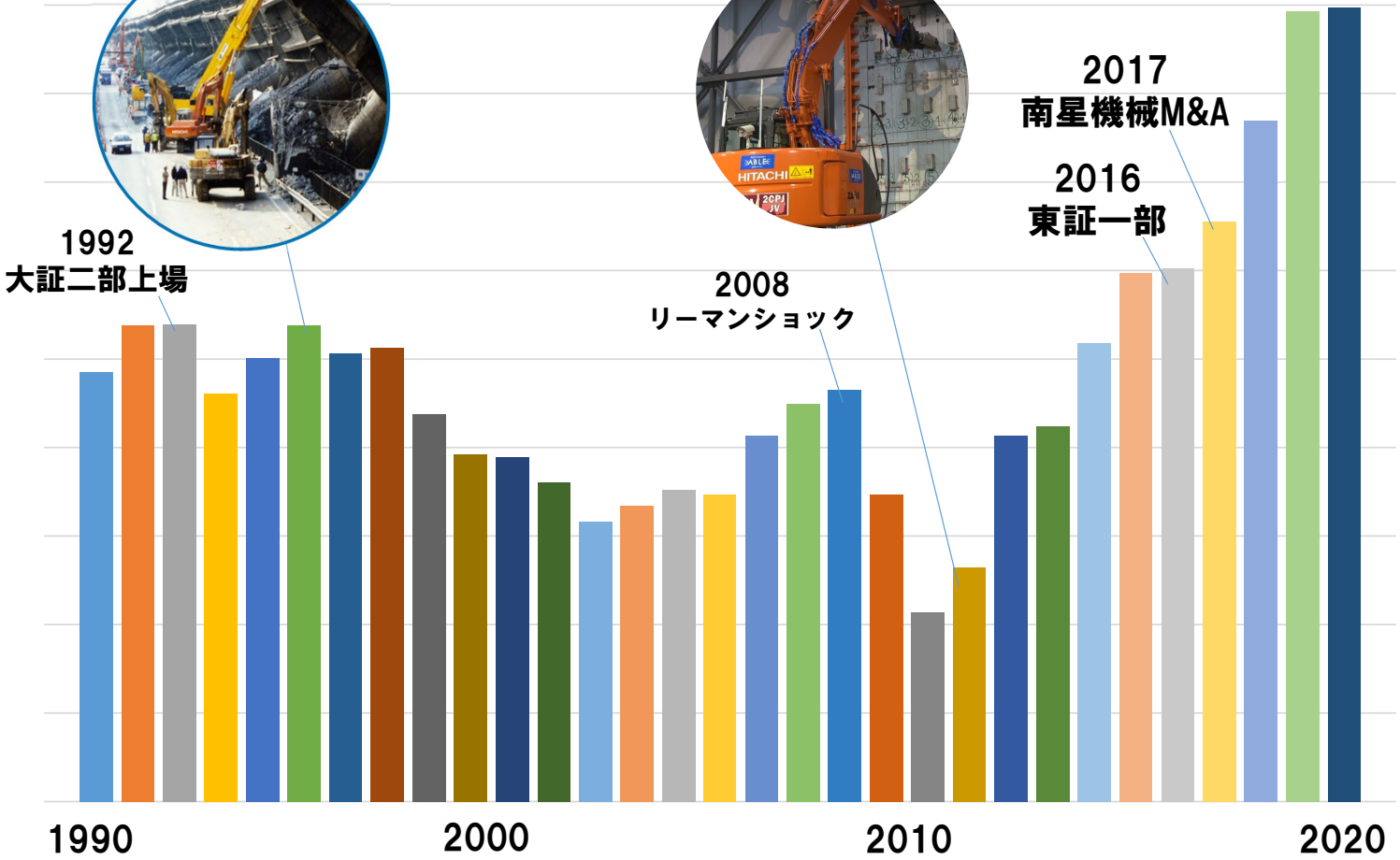
2011
（東日本大震災）

1992
大証二部上場

2008
リーマンショック

2017
南星機械M&A

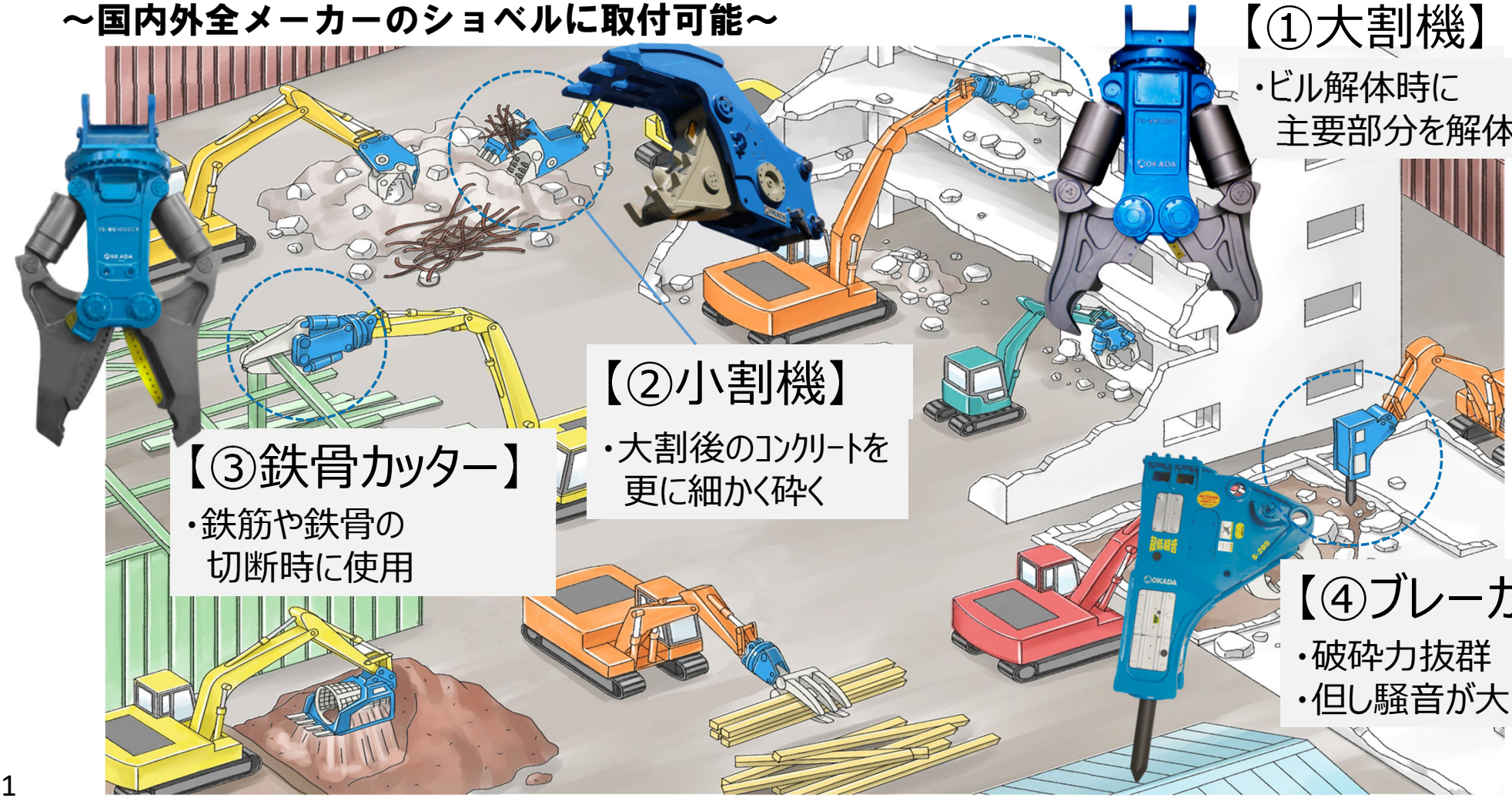
2016
東証一部



【参考】商品用途（アタッチメント）

OKADA

～国内外全メーカーのショベルに取付可能～



【①大割機】

・ビル解体時に
主要部分を解体

【②小割機】

・大割後のｺﾝｸﾘｰﾄを
更に細かく砕く

【③鉄骨カッター】

・鉄筋や鉄骨の
切断時に使用

【④ブレーカ】

・破砕力抜群
・但し騒音が大きい

【参考】商品用途（環境機械）

OKADA

【中低速回転機】

・大きな丸太から破砕可能
・東北震災時にはガレキ処理で活躍

【高速回転機】

・木材を木片チップに切削
・チップはバイオマス発電等で活用

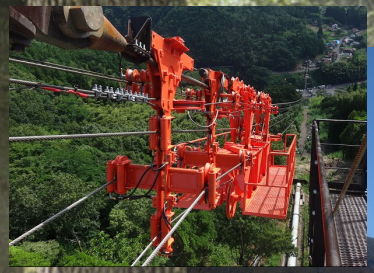
【参考】 商品用途（南星機械）

OKADA

【林業機械】

・森林にて木材を伐採
・枝払い、剪定、運搬までこなす

【発電所・ダム建設用
ケーブルクレーン等】



・道の無い山の斜面での
生コンクリート・資材等の運搬に

【参考】 商品販売先（国内）

OKADA

約70%

【ショベルメーカー系販売会社】

（一例）

約20%

【レンタル企業】

（一例）

AKTIO

KOMATSU RENTAL

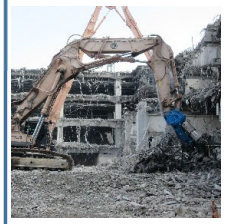
レントリーグループ

kanamoto

（他、各地域レンタル企業）

約10%

【解体事業者】



【参考】主な競合他社（アタッチメント）

【古河ロックドリル】

【日本ニューマチック工業】

【TOKU】（東空）

【TAGUCHi】（タグチ工業）

【参考】 当社の強み

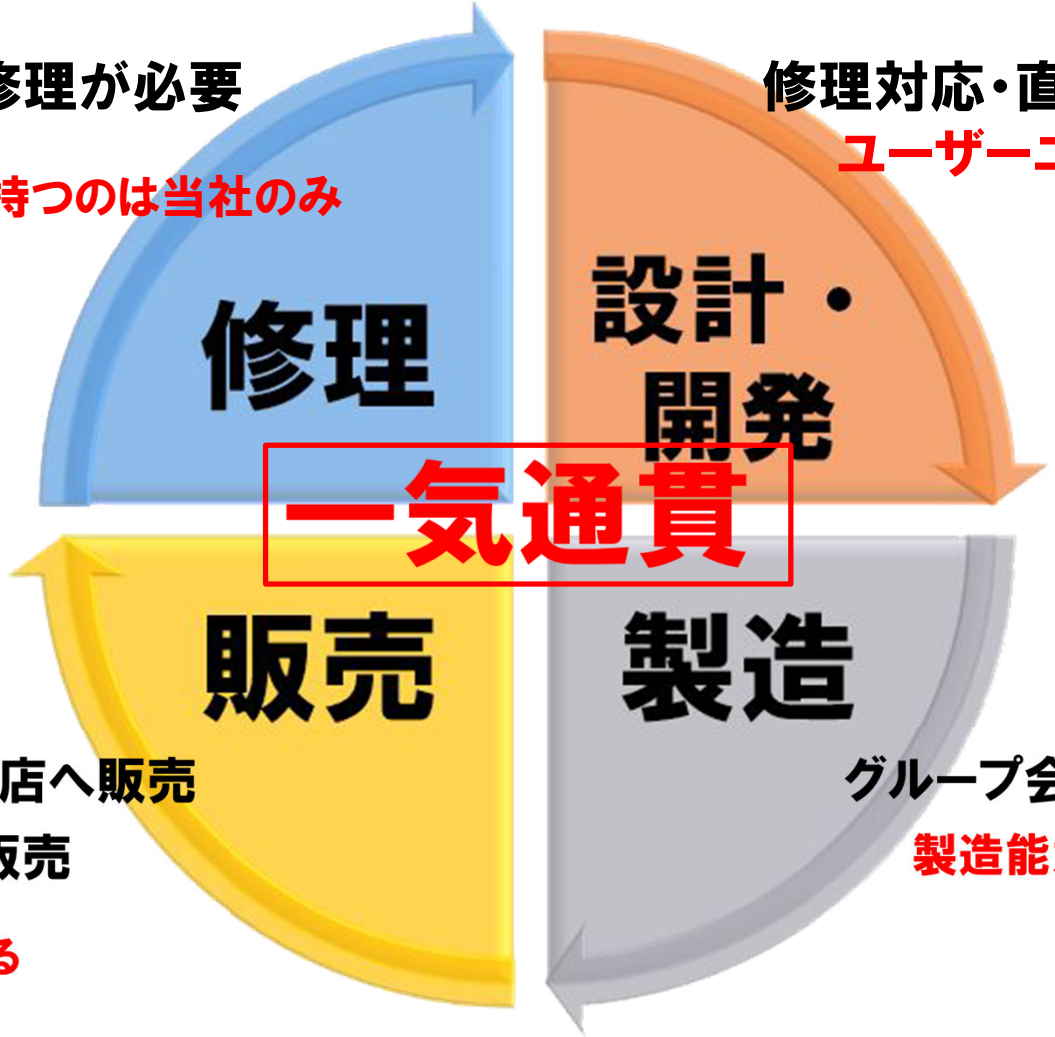
OKADA

商品は「必ず」磨耗・修理が必要

→「自社」修理担当を持つのは当社のみ

修理対応・直接販売によって得た

ユーザーニーズを開発に活かせる



各ショベルメーカー・代理店へ販売

エンドユーザーにも直接販売

現場ニーズを直接把握できる

グループ会社・協力会社による製造

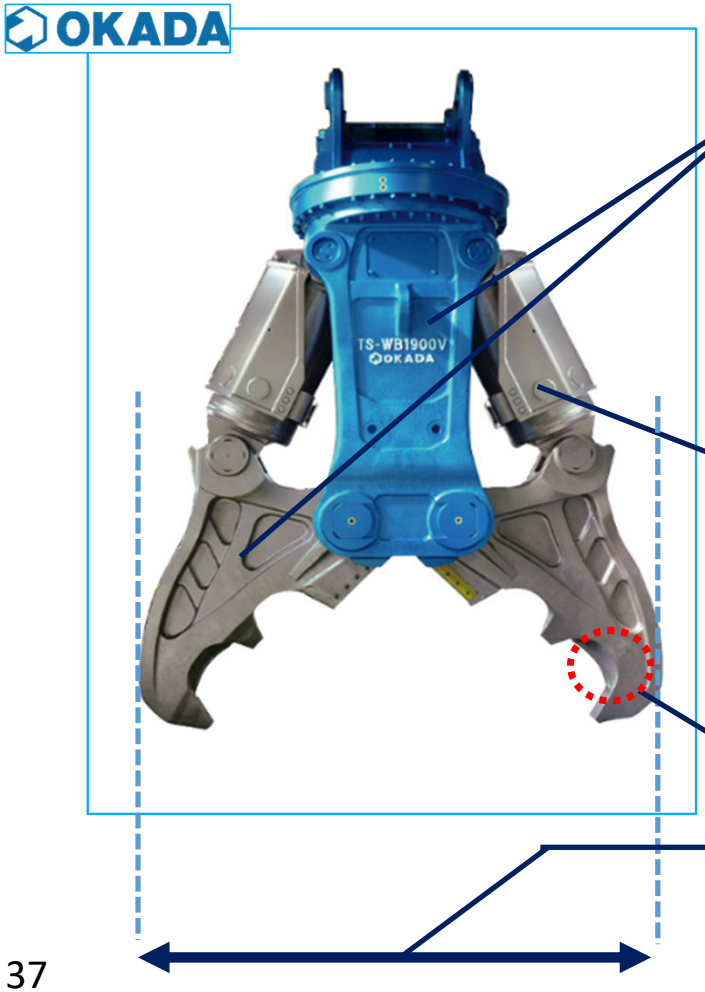
製造能力にアイデアが制約されない

【参考】 製品の特徴

OKADA

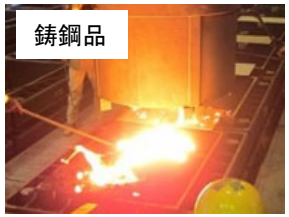
Point

当社のこだわり



解体で特に**強度**が求められる「大割機」「鉄骨カッター」に

「**鋳鋼品（ちゅうこうひん）**」を使用



※「鋳鋼品」・・・特殊鋼を溶かして型枠に流し込み製造
繋ぎ目が無く、「製缶品」より**強度が高い**
自由に成型でき、デザイン性に優れる

↕

「製缶品」・・・鉄板を溶断し、溶接にて製造

シリンダーには増速バルブを搭載し、**パワーとスピードを両立**

ウエッジアームの採用で**抜群の破砕力**を実現

閉じるにしたがってアームが張り出さず、**住宅密集地**でも操作可能